

JIMTOF2018 出展機について

11月1日から6日までの期間、東京ビッグサイトで開催される世界4大工作機械展の一つであるJIMTOF2018への当社出展内容をご紹介します。

※ 世界4大工作機械見本市・・・IMTS 米国 / EMO 欧州 / CIMT 中国 / JIMTOF 日本

今回の出展にあたっては「Power of ENSHU」をコンセプトとして、提案力・技術力・商品力を駆使したエンシュウの総合力がここに集結いたします。当社は、工作機械メーカーで有りながら、部品加工メーカーでもある特徴を生かし、工作機械・レーザー事業部と輸送機器事業部の協業によって生まれる『シナジー効果』（相乗効果）を具現化した商品の提案をさせていただきます。

主な展示のポイントは以下の通りです。

一つ目はIoT（アイ・オー・ティ）への取り組みです。

当社が提案するIoTシステムは主力の量産ラインインテグレータとしてだけでなく、加工工場を持つ機械メーカーとしての強みを生かし、現場が本当に求めるものを具現化した真のIoTシステムとなっています。生産現場により添って、ニーズを聞き取り、企画、開発、試験、評価を繰り返し、商品化いたしました。

「すべてはお客様のワークのために」をコンセプトに生産現場が求める“バラツキのない良品ワーク”を“より効率的”に“より安価”に作り続けるための「IoTソリューション」を提案します。 ※ ワークとは、製品、被加工物のことであります。

二つ目は、新技術として、レーザー加工技術を応用した金属溶射機です。

今回、参考出展としてレーザー加工技術の応用による車載用エンジンのシリンダーブロックボア部内径へのレーザー金属溶射機を発表いたします。又、この機械には全てのお客様に販売可能なエンジンバルブ用レーザークラッド加工機能も追加・変更が出来ます。これら新技術と発表済みピストン加工機によって、暫くは主流である車載用内燃機関の小型軽量化、低摩擦化、燃焼性改善による熱効率の向上と、それによる地球環境負荷低減に貢献出来ると期待しております。

その他新機種として、【量産ライン向け#50 横型マシニングセンタ】や、【GE40H 2APC】、【WE30Ve 高速回転主軸搭載機】、【ピストン加工機改良型】、【ロボット付きレーザー加工機】を出展し、従来のお客様のみならず、新たなお客様、新たな市場へも訴求してまいります。また、当日は、サンプルワークの展示や加工実演も予定しております。

当社は2020年に創業100周年を迎えようとしています。創業以来「モノは社会に役立ち、生活をより豊かにするものでなければならない」を基本姿勢として、これからもエンシュウ株式会社は、社会に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせは、営業部 営業課までお願いします。

[Tel:053-588-2671](tel:053-588-2671)

Fax:053-588-2469